

戰時防諜讀本

陸軍少佐 大坪義勢氏述

特233

554

日本軍士



始



濟原

冊33

554

戰時防禦讀本

特 233
554

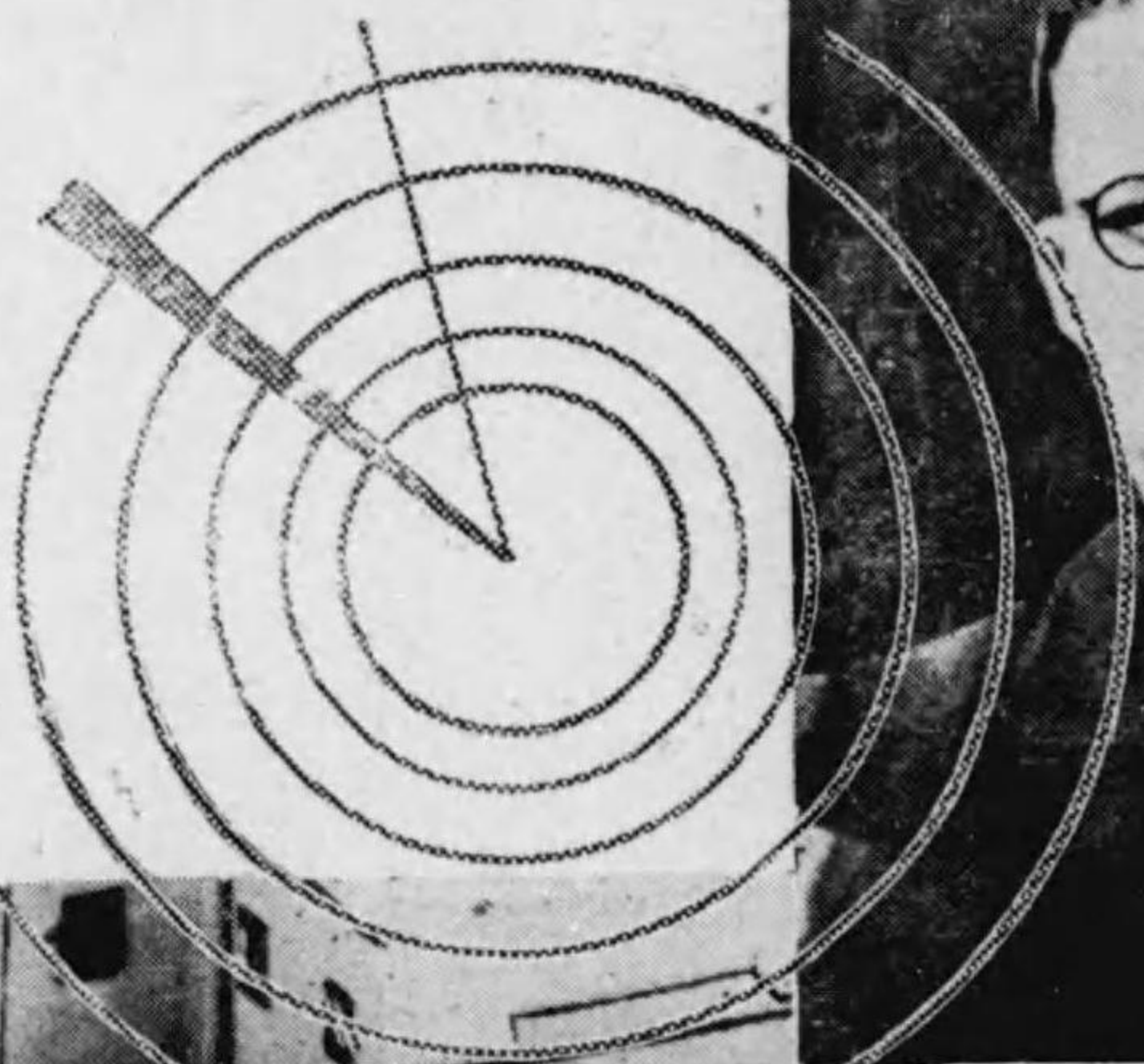
戦時防諜讀本



日刊工業新聞社版

念を罪めれぬ

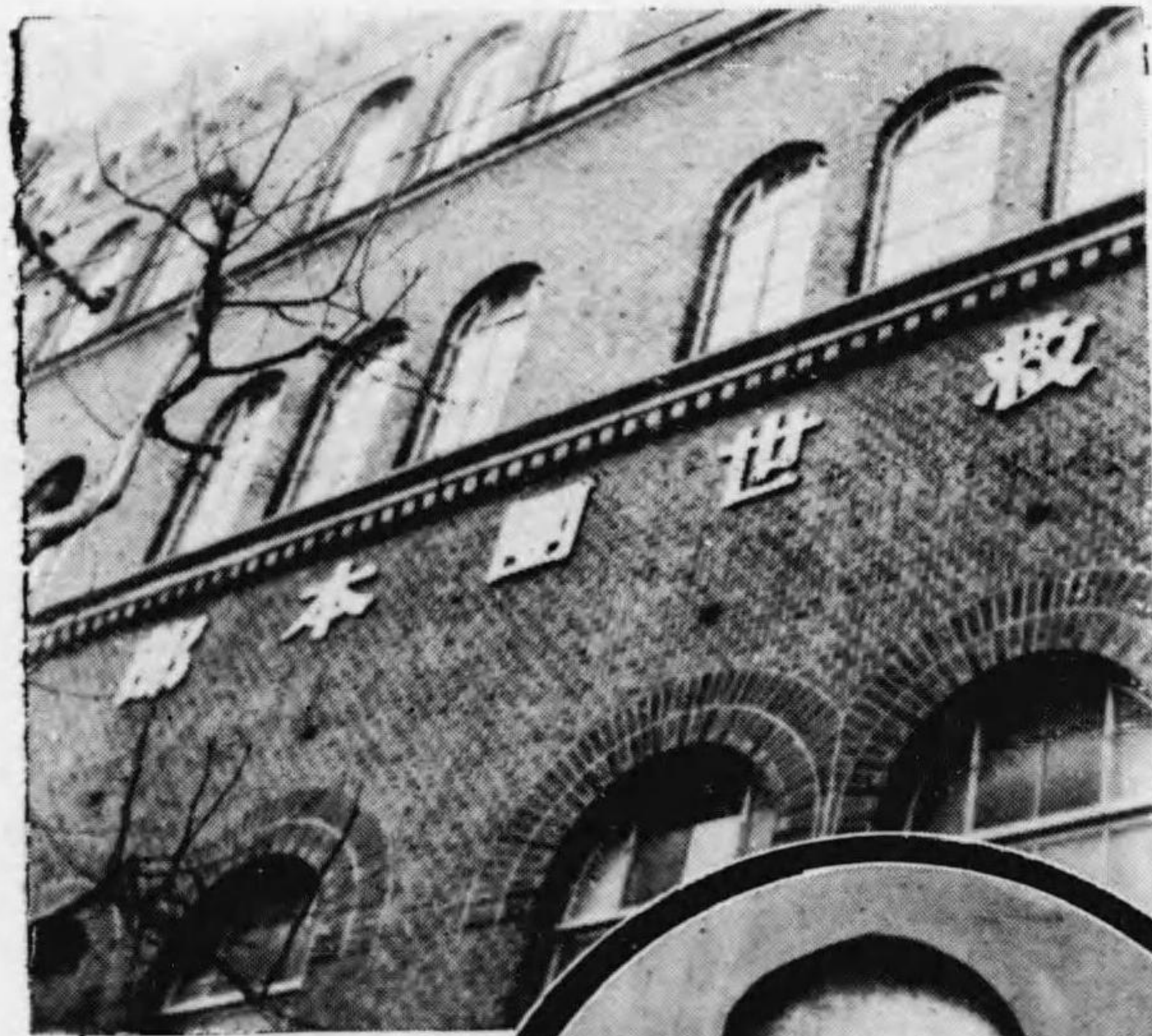
……宮内は當時讀賣新聞所載のもので「上」は
 白殺したコックスと「下」は白殺の現場……



昭和十五年七月二十七日、日支事變勃發以來、我が國に對する外國謀報謀略機關の活動激烈なるに對應し陸軍並に關係當局は國策遂行上斷乎としてこれが一掃を期し苦心内偵の結果、遂に確證を握り、憲兵當局は檢事指揮の下に英國人の一味〇〇名を全國一齊に檢擧した、その際謀報行為被疑者の一人ロイテル(ルーター)通信員M・J・コックスは、雷罪免れがたとと観念したるか、同月二十九日午後二時五分監視憲兵の制止を排除し取調室たる東京憲兵隊本部の三階より飛降自殺を企て同日午後三時四十六分絶命した。

念を罪めれぬ





寫眞【上】は改稱せらるる救世軍
本部と【下】は渡邊新團長

日本人は日本精神に生きよ

昭和十五年九月二十三日、在來まで英國の經營支配下にあつた「救世軍本營」は解散し、こゝに眞の日本精神を基調とせる國民運動の先導として、新たなる發足をなした「救世軍本部」は同日盛大なる結成式を行ひ、團長には渡邊林太郎氏の就任をみた。

はしがき

最近國際情勢の目まぐるしい變轉に伴ひ外國の諜報機關は巧妙なる手段を以て暗躍の魔手を伸ばしつゝある。この聲なく姿なきスパイ群の跳梁に對しては國家總力を擧げて防諜の備へに全きを期さねばならない。

防諜なくして眞の國防國家は建設されない。斯かる時代にあつて、防諜は國民の一人一人に課せられた重大義務である。

本書は防諜協會主催の「防諜講演と映畫の會」に於ける陸軍省防衛課陸軍少佐大坪義勢氏の講演を上梓せるもので、



刻下戦時日本の産業経済界第一線に働く人たちに防諜の重要性を再認識して戴くべく刊行されたものである。

なほ本書編纂のさなかたる二月八日——今次戦時翼賛議會の衆議院本會議に上提せられた「国防保安法」は原案通り無修正にて満場一致の可決をみた。

終りに此の意義深き刊行に當つて、陸軍省、防諜協會各位にあつき御指導とよき御協力を賜りましたることを深く感謝申上げる次第である。

皇紀二千六百年二月

日刊工業新聞社

目次

| | |
|-----------------------|----|
| 防諜の如何は國家の存亡に關係する…………… | 一 |
| 防諜は日常の生活狀態…………… | 四 |
| 恐るべき秘密戰…………… | 四 |
| 恐るべき秘密戰の事例…………… | 九 |
| 防諜とはどんなことか…………… | 一四 |
| スパイの正體は…………… | 一五 |
| スパイの活躍狀況…………… | 三 |



戦時防諜

讀本

| | |
|-------------------|----|
| 文書諜報の威力…………… | 一七 |
| 秘密戰における宣傳の話…………… | 一七 |
| 秘密戰における謀略の話…………… | 四 |
| 日支事變に現れた謀略…………… | 四七 |
| 防諜の如何は民族興亡の鍵…………… | 五 |
| 防諜はどうしたら出来るか…………… | 五 |
| 防諜は國民がやる…………… | 三 |
| 法規の禁を守るのみでは…………… | 五 |
| 非常時突破の覺悟…………… | 六 |
| 防諜は國民の心構へ一つ…………… | 七 |

陸軍少佐大坪義勢氏述

戦時防諜讀本

防諜の如何は國家の存亡に關係する

今から防諜の話をしていただきます。昨年の夏、英國のスパイの一部を檢舉したので、それまではスパイ映畫とか、或はスパイ小説で、どこかにスパイがあるのだな、警察官や憲兵がスパイを追ひかけてゐるのであらうなどと、簡単に考へて居つた、それも隣の支那とか歐羅巴にはゐるだらうが、日本にはそんなにゐないだらうと吝氣に構へて居つた人が、やはり日本にもスパイは居つたのだ、これは油斷がならぬ、なるほど防諜といふことは大切だと急に氣付き、スパイの怖るべきことを知り、防諜の緊要なることが大分判つて來たやうである。

前には防諜といふことはよく判つて居らなかつた。私の友達が軍隊に檢閲に行きまして、ある兵を捉へて、防諜とは何んぞやと訊いた、そうするとその兵は目をパチクリ「ハイボウテウとはふくれることでありませう」と答へたさうです、膨脹と防諜、な

か／＼漢字はむづかしいです、ポウテウといふことは全く膨れるといふこと位にしか使はれなかつたけれども、最近では防諜といへばスパイを防ぐことだといふこと位は小學校の生徒でも答が出来るやうになりました。

しかし一體スパイは、どういふ格好をしてゐるか、どういふことをやつてゐるのか、防諜のために、われ／＼はどうしななければならぬか、防諜はどれほど重要なことか、といふやうなことでまではよく判つてゐない。まだ／＼スパイは警察官や憲兵が追ひかけてゐるのだと呑気に構へこんでゐる人が多いやうであります。

そうではない、そんなことでは駄目なので、防諜といふことは警察官や憲兵だけでは決して出来ないのであります、どうしても國民がやつて呉れなければ出来ませぬ、今までの日本人の状態をよく眺めて見ますと、これは皆さんばかりぢやありません、こゝに偉らさうに出て来て喋る私自身も、いや、日本の者は全部外國人のスパイの手先だつたのです。俺は日本人であるといふやうな格好をしてをられるかも知れませぬ

が、日本に住ひ、日本の恩恵に浴しながら、日本の御飯を食へながら、日本人の社長さんからお金を貰ひながら、而かも外國から一文の金を貰はないで、外國のために全部の者がスパイをやつて居つたのです。といふと又た妙なことを言ふ奴だと思はれるでせうが、いろ／＼話をして行くうちに、なるほどほんやりして居つた、これでは大變だといふことがお分りになるだらうと思ひます。

斯様に日本人はうつかりして居りました、これは防諜といふことが、どんなに大事だか、まだ判つてゐなかつたので、うつかりしてゐたのです。どうも少々うつかりしてゐたが、そんなに防諜々と騒ぎ立てるほどでもないのぢやないか、あまり秘密なことをしゃべらなければよろしいではないか位に考へてゐるのではあるまいか、そんな淺薄なものではない、實に防諜の良し悪しは日本の國の滅びるか、榮へるかの境目である、それ位大事なものであるのです、だから皆さんは、うつかりしてゐてはいけません。

防諜は日常の生活状態

それから防諜は、防諜々々といふ風に言つてゐる間は本當の防諜は出来ませぬ。防諜は日本人の總ての生活の中に織りこまれ、日々話すこと、やること、書くこと等の總てへ、日々の仕事そのものに防諜の觀念が入つて居らなければいけない。即ち防諜といふ言葉は世の中から姿を消してしまつて、本當に日々の生活の中に浸みこんで、無意識の間に行はれるやうでなければ、實際の防諜は出来ませぬ。それだけを先づ第一番に申上りまして次の話をいたしませう。

恐るべき秘密戦

皆さんは二つの國が戦争する場合に武力をもつて争ふところの武力戦といふものは十分に御承知のことと思ひます。その武力戦も過去におけるやうな小さな武力をもつ

てやるのではなくして、武力を中心とする國家總力戦になつたといふことは勿論承知だらうと思ひます、この武力戦以外に戦争の形式があるかないかと言ひますと、それはあるのです、今までも外交戦とか經濟戦とか或ひは思想戦といふやうな言葉でお聞きになつたと思ひます。しかしこれらは何々戦と戦の字句を使ひまするものの、國の存亡を左右すべき平戦兩時を通じての恐るべき戦争とまでは思つてゐないのが大多数です、これはとんでもない呑氣な迂濶千萬なことでした、この武力を用ひないところの戦を秘密戦といふ言葉で現はし、國民として銃後の守りを固くし、我が國力の發展を期するためには、どうしてもこの秘密戦において勝たなければならぬことを強調したいのです。

秘密戦は歴史を翻いて見ますと、昔から行はれて居り、非常に大きな役割を演じて居るのでありますが、皆さんの目に映るほど華々しくなく、軍隊が戦場に乗りこんで飛行機を飛ばし、戦車を走らせる、大砲を放つ、機關銃を撃つ、こゝろいふやうな華々

かな舞臺を持つてをりませぬ。だからハツキリ目に映らないだけです。そのためこの武力に據らざるところの秘密戦といふものが、



支那をおどろし
兼並とまゝくたもつ一即ち英米
大手

て着る、藁を叩いて草鞋を作つて履く、燈はその邊の松の根つこを割つてこれを燃やすといった風に殆んど他人の御世話にならず自主獨立の生活をしてをりました、斯う

いふことを餘り今まで認識せられて居らなかつた。殊に最近のやうに世界の間に時間的、空間的に短くなりまして、何でも打てば響くやうに世界各國のものが互ひに響き合ふ、又た世界各國は非常に緊密な關聯を持ち、有無相通といふ形になつてゐる。昔は自分で田畑を耕して自分の食べる物を作り、綿を作つて、自分で紡いで着物にし

いふ時代は別としまして、今は自分が生活するのに總て他人の力を借らなければならぬ。

これと同じやうに國家も昔は自分の國だけで總てのことが濟んで行きましたが、現在では絶対にそれが出来ませぬ。殊に文化が高度に發達したので軍備も益々大きくなつて參りました。即ち昔は自分の聲のとどく範圍、或ひは銅羅とか太鼓とかのとどく範圍の軍隊しか指揮が出来なかつた、又た大軍を動かさうにも、交通輸送機關がこれを許さなかつた。それが今は通信機關、交通機關が發達したので非常に大きい軍隊を指揮することが出来ます。それがため軍備が擴大された。昔は鎗、薙刀で戰爭した。鐵砲が出来ても先籠めで、先の方から煙硝を入れ、次で彈を籠め、火繩で火をつけるといった調子、一發うつと次が容易に射てないから、その次の鐵砲組が發射するといった具合、彈丸も澤山要らない、ところが今日總ての火器が非常に發達して、一秒間に幾らといふ程猛烈に彈が撃てる、そうなる就非常に影しい鐵量が必要です。到底

昔の比ではありませぬ。

勢ひ國家の總力は生産をもつてしなればとても出来ませぬ、後ろに非常に大きな補給機關が無ければいけない、かやうに現在は國家の總力を擧げて武力戦を遂行しなければ戦争は出来ないといふことになつて參りました。國家が生きて行く上には、どんな大きな國でも、自分の國だけで自給自足の出来るといふ國はありませぬ。アメリカカのやうな大きな國でも、アメリカ一國だけでは生きて行けませぬ。アメリカに不足してゐる資源がある、ゴムや錫などがその一例です、そこで秘密戦が用ひられることになるのです。

現在國家の國防要素といふものは色々な分け方がありませうが、その一つの分け方には、人といふものと、物といふものとの二つと見ることが出来ます。人とは人口と思想の二つ、物とは生産と資源との二つ、この四つが本當にしっかりとるなければ、眞の國防國家は出来ない。この國防要素を破壊すれば、その國は潰れる譯である。

今まではこの國防要素を破壊するのに主として武力をもつてやつた。しかし是は武力を用ひないでも出来る。文化の發達と武力戦争の經過を辿つてみますと、現在では昔と違ひ武力だけで戦争を有利且つ短日月に片づけることは困難になりました。武力戦だけでは長年月を要し、勝つた方も負けた方も、どちらも非常に國力を消耗し、疲弊してしまひ、横から飛び出した第三國が旨い汁を吸つてしまふことになります。ではどうしたら宜いか、それには武力を用ひない、即ち秘密戦でやる、たとへ武力戦になりましても秘密戦を併用して、最も短かい期間に最も有利に戦争を終了したい斯ういふ考へが當然起つて来るわけです。このやうに秘密戦が必要であるといふこと、即ち秘密戦の可能と必要との結果、將來國際間に秘密戦は益々熾烈になるべき必然的運命を持つて居るといへるのです。

恐るべき秘密戦の事例

秘密戦で国防要素を破壊し得る例として二三の事實を拾つてみるに、先づ人口問題から言へば、今の支那事變が、なせ片付かないか、この一つの大きな原因は人口の問題である。支那四億を相手に一億足らずの日本が戦つてゐるのです。この人の数といふものは決定的の要素を持つて居る。昔から發展する國は人間が殖えます、つい先頃まであれ程に人が餘つて困ると言つてをりながら、現在は人が足りない悲鳴を擧げてゐる。

これなどはアメリカのやつた巧妙な秘密戦の効果だといふことが出来ます。若し人は御承知ないかも知れませぬが、移民法といふものがアメリカにありまして、日本からアメリカに働きに行く者を大制限をする法律で、これが出来る時には日本も随分騒いだものです。兎に角この法律のため、日本の溢れる人口の捌け口を抑へてしまつた。さうしておいて裏から廻つて日本に産兒制限といふものを奨勵した、サンガー夫人が來ました、又た或る男爵夫人はそれに共鳴して講演に歩いた、貧乏人が子供を澤



ロシヤと手を握リ
東方安全政策を
計リテ、デニマークへ
電報作戦に成功シテ
ドイツの秘密戦

役立つ立派な人間を作らうと思つてゐた帝國大學の學生が、その赤の思想を受けて實
行運動に入り、

山生んではいかぬ、適當の數で宜しい、少い子供を立派に育てるのがよいのだ。墮胎はいけな、しかし産兒制限はよいと盛んに産兒制限を宣傳して歩いた。この宣傳は現在までも非常な勢で利いてゐる、ですから厚生省あたりで十人以上の子供を完全に育てた者は表彰するといふやうなことをやらなければならぬ。

次に國民思想はどうですか、これはお隣りの赤い國の秘密戦です、堂々たる帝國大學の先生、これが盛んに赤い思想の講義をする。國家が澤山の金を注ぎこんで我國に

『我が愛する祖國ソヴェートロシア』なんてことを言ふ。現在一億一心、支那事變の完遂をやらなければならぬといふ時期に、尙且つ左翼思想運動で檢舉されてゐる人間が居るといふ情けない國になつたのは何んであるか。

アメリカは色々な製作機械を日本に對して輸出を禁止する。ガソリンもやらない、屑鐵もやらない。日本にゐる石油製造の技師は引揚げた。即ち生産方面の壓迫、資源方面の壓迫をしてゐるのです。

皆さんはこの支那事變を何んと見てをりますか、これは日支間の武力戦だと簡単に考へてゐたら大きな間違ひですぞ、これこそ英國の大きな秘密戦なのです、英國は極東において日本と支那を戦はせ、へと／＼にさせて、英國は歩力をちつとも使はずに東洋を征服しやうといふ大規模の秘密戦なのです。

かの軍縮會議や、平和會議が何んの目的で行はれたか皆さんは十分御存知ないでせう、當時の有識具眼の士は、これは日本が目標である、所謂今申すところの巧妙な秘

密戦であると警告したのですが、遺憾ながら正直單純な日本人は氣がつかかなかつた。その結果日本は國を擧げての軍縮熱で、我國の軍備に我が國自身で不當な壓迫を加へられた。これが今度の支那事變の有力な原因です。恐ろしいのは軍備の縮少そのものでなく、不用意に軍備を自ら縮少した日本國民の愚かなる思想です。外國に譚弄され、その宣傳に乗つた日本人の心です。

前の歐洲大戰の獨逸はどうでせう。獨逸は武力戦においては、ちつとも負けて居らない。どの戦線においても全部外國と戦つて勝つて居ります。戦争のはじめには東の方でロシア軍がプロイセンに侵入して來ましたけれども、ヒンデンブルグはサムソノフ軍をタンネンベルグで包圍殲滅し、次でレンネンカンブ軍を撃破し、露軍をして再び獨逸に入ること許さなかつた、また東南方面ではサンデルス元帥は遠くトルコに到り、トルコ軍を指導し、ガリポリ半島に上陸作戦を試みた英國軍は悲惨な運命を擔つて退却してゐる。伊太利は獨逸、オースタリー聯合軍のためイソンゾ河畔に大敗し

今にも瓦解しさうになつてゐる。西の方は佛蘭西、和蘭、白耳義領内で對峙をして居る。獨逸は斯様に各所において赫々たる勝利を得て居つたに拘らず、何故あんな結果になつたか、それは實に國內統後の崩壊です、キール軍港の水兵暴動に端を發した國內統後の混亂です。幾百萬の英靈によつて獲得した偉大な戦争を放棄して、軍を國內へかへさなければならなかつた。しかも歸つてみると皇帝は退位して居る。獨逸の國の中は眞ッ赤になつて居る。これは武力戦では勝つたけれども、秘密戦ですつかり負けただけだからです。

防諜とはどんなことか

斯様に秘密戦は恐ろしい、この恐ろしい秘密戦を防ぐのが防諜である。唯秘密を洩らすなどいふことが防諜だと考へてゐたら大きな間違ひです。この恐るべき秘密戦に對して、日本の國民全部が我國を守ることが防諜である、そこを忘れないやうに。

この恐るべき秘密戦をやるのがスパイであり、このスパイは秘密戦をやるために、諜報、宣傳、謀略といふ三つの手段をとる。この三つの手段が秘密戦の攻撃であり、す、これに對する防禦が防諜です。ですから防諜とは、諸外國が我國に向つて仕掛けて來るところの諜報、宣傳、謀略を防ぐことだといへるのであります。

スパイの正體は外國の合法的組織網

ではこの恐るべき秘密戦を仕掛けて來るスパイとは何者か。スパイの正體は如何かといふことになります。さきにも話しましたやうに、スパイは今までの小説とか映畫で見るマタ・ハリのやうな綺麗な女や、或ひは烏打帽を眼深に被つて黒眼鏡をかけ、影のやうに出没する男でもあるかのやうに考へてゐる人が多いのでありますけれども、そんな者も居るには居りませうが、今ではそんな者では、この秘密戦は出來ないのです、ではどんなものか、スパイの正體は何かと言ひますと、これは外國の合法的

な組織網です。これがスパイの正體であり、これが無ければスパイすることが出来ず秘密戦は出来ませぬ。何故出来ないかと言ひますと、どの國でも今は防諜といふことは相當熱心です、何處の會社でも、工場でも、秘密書類や秘密器材は嚴重に守つて居る。だからそれを盗むことはなかく、困難です。うっかり盗みに入らうものなら、直ぐ警察官や憲兵にふん捕まる。

しからば秘密は盗めないかといふと、そんなことはない。秘密はいくらでも盗める。秘密といふものは何處かの金庫の中に藏つて置く。そうして鍵を掛けて嚴重に監視して居れば絶対に外に出ないかといふと、そんな秘密なんていふものは世の中には一つもない。かりにこの紙片を非常に大事な秘密兵器の設計圖として置きませう、これに軍極秘の判を捺して金庫の中に藏つて置けば宜いかといふと決してそれでは安心出来ない。これに應ずるところの部分品の圖面は各々必要なところに配布され、見られて居り、それらの部分品は職工に依つて作られてをります、即ち軍極秘の書類の中

の色々の部分々々が分れて、皆外に出て居ります。かくの如く金庫の中から外に出て居る。又た外に出なければ仕事は出来ないのです、外に全く出て居らないやうな秘密書類を金庫の中に藏つて置くだけなら紙屑同様のものに過ぎない。この金庫の外に秘密の部分々々が澤山出て居るのです。だから設計圖はいくら金庫の中にあつても、外に飛び出してゐるものがあるから、金庫の中の物を盗るのはむづかしいが、澤山外に出て居る、而も案外ぼんやりして居るものも成るべく多くあつめれば金庫の中に隠されてゐる本尊が分る。ぼんやり多くあつめればどうすれば宜いかといふと、一人や二人では駄目です。多勢の者でやらなければならぬ。一人が澤山のものを追ひかけてゐると彼奴は怪しいといふことになる。だか



日本には早くも
度華が欠乏した
Eは日本人に
サ入り洋服に
下駄をはいて、
と宣傳した某茶

ら多勢の中の一人々々が、この金庫の中からはんやり飛び出して居る一つくの断片的のものをあつめて来て、それを整理して見るとはつきりしたものになる。

極く卑近の例を申しますと、かりに牛と馬とがあるとき、この牛と馬とが、かりに秘密のものとしまして、この牛と馬を箱の中に入れて匿して置く。これは箱の中に入れて置いただけでは死んだものも同様で何にもならないから、時には引ッ張り出して使はねばならない。或は汚いものを出せば取つてやらなければならぬ。食物を喰はせなければならぬ。かうなるとちよい／＼外部の者に見える譯です。ちよつと尻尾が見えた、こつちはこんな格好の尻尾が見えた、こつちは斯うである、どうも尻尾が違ふから、こつちは馬らしい、こつちは牛らしいといふことになる。これで大體がわかる、これでハッキリしなければ、ちよつとお前はこつちの爪を見てくれ、お前はあつちの爪を見てこい、こつちは割れてゐました、あつちは丸い一つの爪です、啼聲はどうだ。こつちはモウと啼いた、あつちはヒ、ーンと啼いた、こつちは角が見え

た、あつちは鬣が見えたといふことになると、どんな馬鹿な者でもこつちは牛で、あつちは馬だといふことがわかる。これと同様に何か部分品を見ても、これはどういふ種類の機械に使ふものかといふことがわかる、かういふやうに澤山の材料をあつめれば集めるほど正確に判断が出来るのです。

軍の作戦計畫でもさうです、作戦計畫、これは無論嚴重に金庫に入つて居ります、しかし作戦計畫を作つて金庫の中に放りこんでおいても役に立たない。頭の中で考へ紙の上にならぬ。しかし作戦計畫を作れば、それに應ずるやうに總てのものをやらなければならぬ。軍備も擴張しなければならぬ。従つて兵隊も澤山軍隊に入れないならぬ。將校も澤山作らなければならぬ。又た火砲彈藥も、戦車も飛行機も自動車も澤山作らなければならぬ。交通、通信機關の整備も必要であり、生産も必要である、物動計畫もこれから生れる。かやうに作戦計畫は金庫の中に入つてゐるけれども、それを推理想像するに足るものが世の中にどん／＼見えて居るわ

けです。それを見れば日本軍は、こいつ作戦計畫を持つて居るな、といふことが判断出来ませう。

斯様に外に轉がり出てゐるものを見ればわかる。正確な判断を下すため、この外に轉がり出てゐるものを出來るだけ多く集める合法的の組織網が絶対に必要なのです。外國は明治初年以來さういふ組織網を日本國內に張り圍らしてをります。これが恐るべきスバイです。合法的のものですから自分でスバイだとは言つて居りませぬ。貿易商である。機械商である。油商である。教會で日本人にキリスト教を弘めて居るのだ。學校で日本人に色々な教育をして居るのだ。或は社交團體で、お互ひに飯を喰つたり、ゴルフをしたり、話をしたりして交際して居るのだ。かういふ假面を被つて居るわけです。これがスバイなんである。そこをよく覺るこんで置いて下さい。そこで今度は組織網が如何に廣く且つ濃密に張られて居るかの一つの例を話します。ライジングサンといふ石油會社は、どういふ網を張つて居るかと申しますと、油

のタンクを全國に百十ヶ所持つて居ります。しかもその位置は重工業地帯であるとか、亦た重要な港であるとか、或は軍事上の重要施設のある所とか、さういふ大切な所にある。このタンクから直營のガソリンスタンドに油を配給して居ります。皆さん御承知の赤貝の印のついて居るスタンドです。

東京の柳島に例を取りますと、東京市内に直營のガソリンスタンドを三十九持つて居ります、その外にタンクから油を販賣する特約店に配給して居ります。陸軍省が買つて居るのは細山太七商店であります、大家とか三長とか角張とかいふやうな油の販賣店がそれでありまして、この數は直營のガソリンスタンドよりも多いのです。その外に大きな乗合自動車會社とか工場とかに油を配給してをります。一つのタンクから百以上の網を出して居りますから、全國に一萬一千の第一段の網がある譯です。第二段の網はどうなるかと言ひますと、そのガソリンスタンドに出入りする自動車の運轉手、油の特約店と交渉のある人々、バス會社の従業員であり、第三段は以上の人々

に接觸する者で、その數は到底想像も出来ない程多數でありまして、これだけの網が張つてあれば何でも集まつて來る譯です。

スパイの活躍状況

では斯かる合法的な組織網を持つて居るスパイはどんな諜報、宣傳、謀略をやつて居るかといふ話ですが、その前に諜報、宣傳、謀略とはどんなことかといふことを先づ話させよう。

諜報といふのは自己の利用せんとする目的を秘匿して必要なる諜報を得ることです。秘密なことでも、秘密でないことでも、こつそりやつても、大つびらにやつても、非合法でかつても、合法的にとつても、そのやり方は問ひません、これは皆がやつてをります。特に商賣をやつて居る人は、誰れもやつて居るもので、商賣の懸引と同じことです。

宣傳とは、これはもう説明するまでもありません。自分の思ふやうな方面に相手の頭、思想を引ツ張つて行くことで、その方法は、口でも映畫でも廣告でも、パンフレットでもその他どんな方法でも宜しい。

謀略といふのは、こつそり策略をめぐらして、相手に直接的の害を與へること、放火、爆破、細菌、テロ、ストライキ等がこれです。

さて諜報はどんなにやつて居るかと申しますと、今の組織網を使ひまして、いろんな外に轉がり出てゐるところの、普通の人は別に國家の秘密ではない、何んでもないと思つてゐるやうなことを、喋つたり書いたり寫したり捨てたりするのを全部あつめて來て、その中から必要な情報を得るのであります。たとへば赤紙が來る、即ち動員令が下り『祝出征』の幟が立つ、近所の人が挨拶に來る。

『今度どつちにお入りになりますか』

『私はどの師團に應召します』

『私ほどの聯隊に入ります』

こいふやうな話が出ます、また驛では小さい國旗を持つて『勝つてくるぞと勇ましく』とか『天に代りて不義を討つ』とか萬歳々々で送つて行く、こいふ話や状況をどん／＼報告するわけです。たつた一人で全國を駆け回り廻るわけには行きませぬが、前述の如き濃密の組織を持つて居れば、日本全國の情報が入つて來ます。だから皆さんが別に危険だとも思はない詰らない話をあつめただけでも、今日日本ではどの師團とどの師團、合計何箇師團動員してゐるといふことが直ぐわかるのです。新聞にはちつとも出ないでも又た〇〇づくしで書いてあつてもそんなことは役に立たない、動員された軍隊が動き出す。國防婦人會、愛國婦人會の人々がお茶を酌んでやつたり、キヤラメルを上げたりして歡送する。その間に色んな話が出る。

『どちらの師團です』

『どちらにお出でになります』

『どの方面に行くらしいです』

そのやうな話が歸つて來ての井戸端會議、洗濯しながら、米をとぎながらの間に

出る。主人が運轉手だつたら早速ガソリンス

大手 タンドに行つて、

『きのふ家内が何時頃東京驛に見送りに行

つたら、どの師團が出て行くところだつ

た。どつちの方に行くらしいよ』

といふやうなことを言ふ。そんな話が又

網を通じてどん／＼入つて來る。そうする

と何月何日動員された先頭部隊は、何日の

何時何分にとの驛を通過してどの方面に向

つたもののやうである。第何師團は何月何日何丸に乗つて、どの港を發つて、どの方



イギリス
救世軍の「手」
「ロ」となつた
忘しき日本の救世軍は
遂に救世團と改名させ
られ、イギリスとの
くさ小縁を断たれた

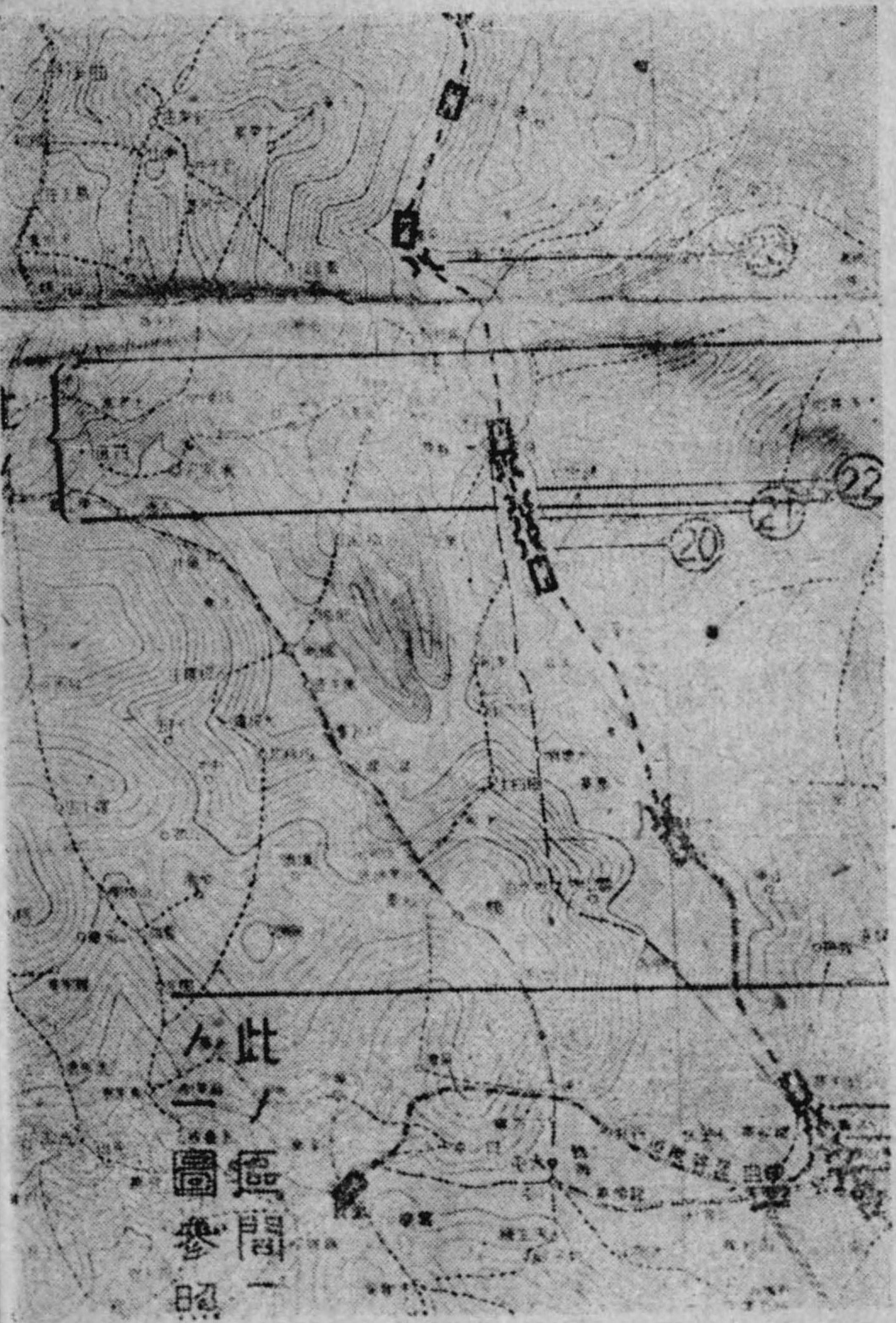
面に向つた。日本の軍隊はどの位、どの方向に動いて居るかといふことが直ぐわかる。斯ういふやうな具合になるわけです。こんなに組織網といふ奴は役に立つ。斯ういふ風にあつめられる材料を平氣でお喋りしてゐた皆さんは何にかといふと、一文も金を貰はずに、外國のスバイの手先をやつて居つた。この話の初めに申しました通り日本人は全部外國のスバイであつたといふことが判るだらうと思ひます。

外國が集めるのは「話」ばかりでなく、會社の紙屑であるとか、或は會社が出した色々な印刷物であるとか、寫真であるとか、そういふものを一切集めるのです。十年ばかり前の話ですが、親日の英國人に×××といふのがありました。その人が陸軍の紙屑を全部買占めて居つた。今では陸軍省では紙屑は皆再製機に掛けて居りますが、うっかりすると大切な紙屑が外へ出ないとも限らない。防諜がやかましく叫ばれなかつた十年前も前、ボウテウとは膨れることでありますと云ふやうな時代には、この紙屑からどんなことが洩れて居つたかわからない。滿洲では便所に落した紙屑まで買ひこ

んで洗つて消毒してみる。そんなことまでやつて居ります。これはまことに臭い話ですが、そこまで眞劍にやつてをるのですから、うっかり紙屑を捨てたりしては大變です。

文書諜報の威力

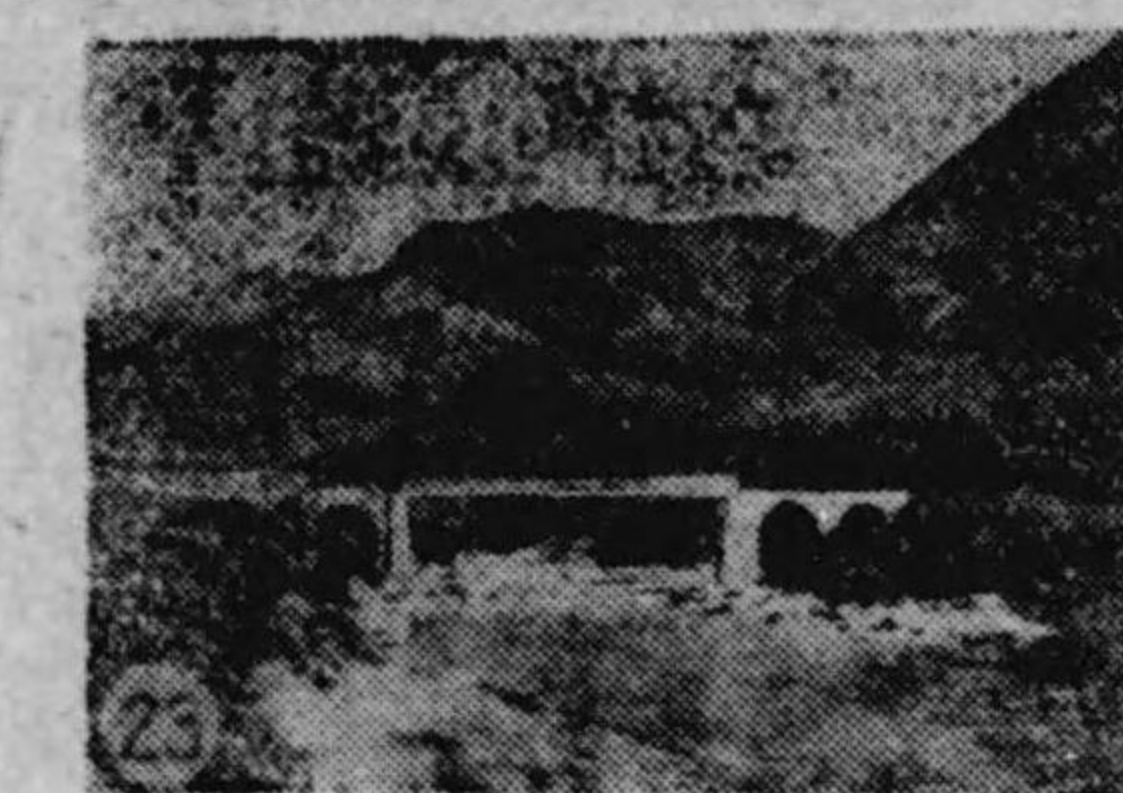
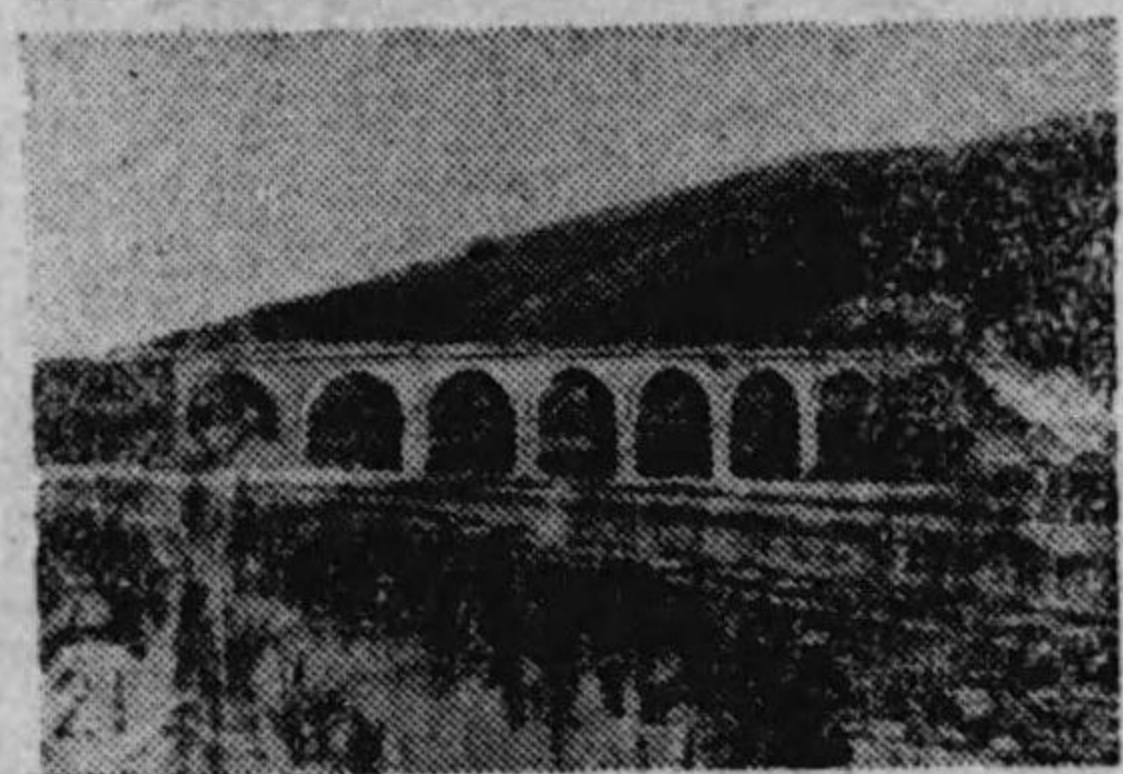
その次に外國側が日本は實に有難い國であると非常に喜んで居るのは公刊文書の多いことであり、新聞とか、雑誌とか、繪葉書とか、地圖とかそういふ、一般に販賣し又は配布するものから希望する情報を得られるからです。この諜報を特に文書諜報と言つてをります。この組織的な文書諜報に掛ると、どんなものでも判る。殊に日本人の書いたものは、防諜觀念が無いから實に克明正確、外國側の滿悅至極のものなのです。政府の出す統計でも、新聞社の編纂する年鑑でも、各大學で出す學術研究報告(而も英文で書いてある)或は正確な地圖が出る。寫真が賣り出される。といふ風にい



この鐵橋の寫眞は？

讀者諸君が假りに敵地爆撃を敢行れる氣持で右頁の地圖と左の寫眞の番號を見較べ考へ合されて後——立場を替へて、また日本全國で在來まで發行されてゐた繪葉書又は種々の出版物に掲載されてゐた立派な寫眞等を思ひ泛ばれる時、これは氣付かないまゝになんと云ふ考へ無しなことであつたであらうと、深く考へさせられる點があることゝ思はれます。

(地圖並ニ寫眞・陸軍省御貸下)



ろくのものゝが随分出る。これらの出版物をこの組織網で買ふ。平素の取引とか、研究といふやうな関係で、経済関係の機關は経済関係のものを買ふ。學術關係の機關は學術關係のものを集めるといつた具合にすれば人目につかないで廣く集められる。そしてその中から自分の必要とする情報を集める。日本は實に好い資料を彼等に安價に與へて居るのです。だから日本人は頼まれもしないのに外國のスパイをやつて居つたといふことになりす。その一つの好い事例を示しませう。

この圖（前頁の地圖參照）は〇〇鐵道の爆撃に我軍が使つたものです。この鐵橋を海の荒鷺が見事に爆撃したのですが、こちらの地圖だけを示して、これで一つ爆撃をやれと言はれたらどんな専門家でも、ちよつと參ります。なるほど鐵橋の幅といふものは大概定つてゐますからわかりませんが、長さとか、高さ、構造、附近の山の形とか状態とかは、地圖を見ただけではなかく判らぬでせう。ところがこちら側の寫眞があると小學校の一年生でも、すぐにこの橋は鐵筋コンクリート造り、高さはどの位、

長さはどの位、附近の山は高いといふやうなことが判る。若しこゝにいふ寫眞がなければ、致方が無いから、豫め飛行機を飛ばして偵察をし、必要なものは寫眞を撮つて來なければならぬ。そうすれば誰か犠牲者が出る。或は日本軍が今からこゝを爆撃しやうとして居るといふことが判つて、敵は用意をする、それでは旨いことは出來ないのです。

この寫眞はどうして手に入れたか、——私は本年度の初め北支へ出征致しましたがどの鐵橋にも撮影禁止と大きく書いてありました。支那は平素から鐵橋の寫眞撮影を禁止して居たのです。だからこの寫眞は勿論支那からは手に入らない。重慶側にはどん／＼援蔣物資が入つて行く、これを阻止するためには、是非とも〇〇鐵道の爆撃をしなくてはならぬ。而も好い資料が前記のやうな事情で手に入らない、非常に苦心をして各方面に手配をする。その勞力や經費は非常なものだといふことは、この道の人以外には到底想像出來ません。

幸ひなことに○國人の○○鐵道に關する記事の中の挿畫にこの寫眞が出て居つた。その本が手に入つたので、斯ういふ詳しい爆撃の圖が出来たのです。楕圓形のも、四角形のも、中には隅が缺けてゐるのも、これは一つ頁に組込んであつた證據です。此の寫眞と爆撃とを考へ合せ、さて反對に日本にはどんな繪葉書があつたかといふことを一つ思ひ浮べて戴きたい。鐵橋の寫眞などはおろかのこと、無線電信局の寫眞があり、放送局の寫眞があり、水源地の寫眞があり、發電所、變電所、飛行場、港灣、大工場等、澤山の重要施設が撮られて賣り出されてゐる、工場に到つては各營業案内に自分の工場はこんなものでございませうと立派な高所から撮影した寫眞を掲載してある。ですから外國側は日本全國の繪葉書を盛んに買ひあつて、會社、工場の型録や營業案内をあつめて居る。これを見ても日本人は知らず知らずとはいひながら御丁寧に外國のスパイを勤めて居つたと言つても誤りのない言葉でせう。怪しからぬ言葉だといふことが出来ませうか。

此の圖は西南援蔣ルートの蜿蜒○○○哩ですが、これから多量の援蔣物資が入つて居るので、どうしてもこれを遮斷しなければならぬといふので、非常に苦心した結果が、こんな圖になつたのです。これだけの資料を集めるには、どれだけの苦心、どれだけの犠牲が拂はれて居るかは、皆さんには到底想像出来ないのです、寫眞が五枚あるけれども、四つの橋の寫眞です。これが○○橋、この方が△△橋、これが□□橋、これが××橋の寫眞です。この△△橋と□□橋とを最近海軍が爆撃して非常な手柄をたてたのです。これだけの長い間ですからいろいろの橋があるのですが、こちらの手に入つたのは、この五枚しかないのです、といふことは今まで馬鹿にしてゐた支那の方の方が防諜といふことについては遙かに偉くて、馬鹿にしてゐた日本の方が却つて馬鹿であつたといふことになる。

次には地圖の話ですが、二の圖は昨年三月に○國の大使館付武官の○○が視察に行つた時買つたものと同じ地圖で、裏には御丁寧に寫眞まで入つて居る。こちらの方に

は都市計畫圖まで載つて居ります。何故斯ういふ地圖を麗々しくこゝに出すか。此の赤いところを御覽なさい、どんなところか、これは水源地であるし、此處は各兵營で、砲兵とか、工兵とか、輜重とか、火藥庫、彈藥庫、或は兵器廠、糧秣廠、遞信局、電話局、郵便局、市役所、工業試験所等々、國家として非常に大事なもの、皆赤で正確に書いてある。しかも二、三十錢で買へるのです。それと對照したこの圖を御覽なさい。これは日本が〇〇回の爆撃をした重慶市街の地圖ですが、これはそこらあたりに賣つて居る地圖ではありません。我が方で非常な苦心をして、いろ／＼の資料をあつめて、こゝまで漕ぎつけたものなのです。この赤い方が敵の重要施設で、放送局、火藥庫、浄水場、水源地、地方法院、立法院、行政署、兵工廠、委員長行營、郵政總局、電燈公司、支那汽船の碼頭、工場等々です。青い方が各國の領事館とか大使館、或は教會とか病院、スタンダードのタンク、日清汽船の碼頭、佛蘭西の病院、修道院、外人經營の學校等です。勿論赤と青とは重慶に在る敵側の重要施設と外國權

益とをハッキリ區別するために書き分けてあるのですが、元の圖に示してあつたの色分けしたのではないのです。元の圖には赤や青に相當するものは示してないので、ですから此の赤や青の部分を除いたのが支那側の地圖となるわけです。即ち重慶の地圖には町名と番地しか書いてない。赤や青の部分は非常な苦心の結果出來たのです。所謂諜報の結果なのです。

この用意周到な重慶の地圖と、こちらの日本の市街地圖とを較べたらどうでせう。この重慶の地圖をこれまでに作るには素晴らしい金を掛け、大した時間を使つてをるのであります。ところがこちらの日本の方だつたら、たゞの二十錢か三十錢位で手に入ります。だから日本の國からスパイするのは實に容易い。さうして一方にあれば、澤山の繪葉書や寫真を出し、こういふ正確な地圖を出して居りながら、片ツ方で一生懸命に防空演習をやつて、まだ灯が洩れてゐますよなんて、八釜しくいつて居る、これは大變な片手落です。

斯様に外國の組織網はいろ／＼な手段で種々な資料をあつめ、その中から自分の利用せんとするところの情報を取り出してゐるのです。だから外國にはキツトこんな重慶の圖のやうな生温いものでなく、正確無比な京濱工業地帯爆撃明細圖といふやうなものが出来てゐて、今でもすぐに爆撃がやれるやうに用意してあると思ひます。それまでに用意させたといふことは、初めに申しましたやうに日本人の全部が、その手先となつて助けてやつてゐたからなのです。日本に對する此の種文書諜報は各國共非常に重視して居りますが、特に×國の大使館は東京だけでも購入したことが明瞭に分つてゐるものが二萬數千圓の額に達して居ります、不明のものを合すれば、更に増加するだらうと思ひます。

かやうに×國は文書諜報を重視して居るので、反對に自國の文書防諜は非常に徹底してゐて公刊物と雖も殆んど一切を國外に出して居りません。あらゆる印刷物は國境で止つて外には一切出ませぬ。それを日本に比べたら實に雲泥の相違です。日本からはどん／＼色々なものが出て居ります。だから諸外國では日本のありとあらゆることを、すつかり知りぬいて居る。經濟封鎖でも破壊謀略でも、日本の最も痛いところをやる事が出来ます。今アメリカが日本に對し經濟封鎖をやつてをりますが、アメリカを恨んだつて仕様がなない。誰を恨むことはない、今まで愚かであつた日本人自身を恨むより外に仕様がなない始末であります。

秘密戦における宣傳の話

次は宣傳の話に移ります。今日の宣傳は昔と違つて餘りデマは飛ばして居りませぬ。斯うなつたのは、私はラヂオが發達したことと、もう一つは寫眞の電送、殊に寫眞の無線電送が發達したこと、この二つの結果であらうと思ひます。前の歐洲大戰の時には獨逸側は英米側から包圍されて居つて、而もラヂオは發達して居らない、獨逸側としては言ひたいことは山程あつたが、全部通信を封鎖されてしまつたから、英米

側の都合の好いことばかりが世界に發表され、亦た非常なデマ宣傳が行はれました。戦争がすんで蓋をあけてみると、獨逸側には尤もな言ひ分があつた。英米側は随分いゝ加減なことを言つて居つたのだといふことが判りましたから、さあ今度の戦争が始まりまして、英國側が盛んに宣傳を始めたが、前の大戦を知つてゐる各國は英國の方には相當割引して聞いたらいゝといふことになつて、餘り効果が擧つて居りませぬ。



困難なラヂオの威力があるからです。又たラヂオのよい點はヒットラー自身の聲を全世界が聞くことが出来る、もう一つの寫眞の無線電送はこれ又た効果が大である。獨逸側がこういうふ船をやつつけた。こういうふ港を爆撃したといった場合、英國側はやつつけられないと言つても、ちや寫眞を出さうかとその時寫した寫眞を全世界に無線電送をすると、生々しい事實が證明されるのだから、嘘だとは言へない。こんなわけで、現在ではデマ宣傳をしやうとしても駄目です。

では現在の宣傳はどんな風に行はれて居るかと言ふと、本當のこと、事實を巧みに織ぎ合はせて編輯し、相手の思想を自分の希望する方向へ引ツ張つて行くのです。即ちそのまゝにしておけば右に向つて行くものを、編輯の巧妙さによつて、その結果は斯うだと、左に向けさせるのです。たとへばアメリカの輸出禁止で、日本にはガソリンも屑鐵も不足して居る、米も足りない、木炭も不足して居る、この正月には餅も十分手に入らない、お酒も飲めない、木綿も足りない、今に蒲團の綿まで取りあげられるぞ、これも戦争をして居るからだ。早く戦争を止めぬと、今に何も彼も足りないものだらけになつて國が潰れてしまふぞといはれると、なるほど足りないことは事實

だ、さう言はれると、さうなるかなあと、うっかり信用し易い日本國民は結論を本當にして騒ぎ出すと、銃後の結束が崩れる。前の歐洲大戰における獨逸の二の舞をやるかもわからぬ。彼らはそれをやらせやうと思つて居る。うっかりすると、その外國の思ふ壺にはまるわけです。

こんな例もある。銀座の白木屋デパートの閉店後、女の賣子が、洗面所で顔を洗つて、コンパクトで鼻の頭を叩いて、さて歸らうといふところを寫真に撮つた者があつた。その寫真を或る國では

『日本では支那事變のため、非常に男が不足した、總ての産業は七五%までは女がやつて居る。この寫真はその事實を表はす例である』

との説明をつけて日本の悪宣傳をして居る。どうしてそんなことが役に立つのかといふと、その國では男は女の友達を持つて居り、女は男の友達を持つて居る。あまり良い風儀の國ではありませぬ。ですからデパートの退ける時には必ず男が待つてゐて、

腕を組んで歸つて行く。寫真を撮ればどうしても男女一對が寫るわけです、ところが日本はそんな風儀の悪い國ぢやないので、歸りを急ぐ女の人ばかりが寫つて居る。ところがその國の人々からみれば、男が居らないから、男が不足して總ての仕事の七五%まで、女がして居ると思ひこんでしまふ。實に使ひ方が上手です。

この前朝日新聞に掲載された寫真を利用した巧みな悪宣傳がありました、それは宮城前の少年少女の勤勞奉仕隊の活動してゐる寫真でしたが、或る國ではそれを日本は支那事變のため人間が不足したから、遂に少年少女を使つて強制勞働をさせて居るといふ説明を附けて使つてゐる。その國の人々は可哀さうなものだ、大人が少くなつて少年少女が強制勞働をやらせて居る、今に日本は潰れてしまふと信じ込む。彼らには勤勞奉仕などといふ立派な精神は判らう筈がありませんから、斯ういふ風に實際のことを巧妙に使つてとんでもない宣傳をやる。だから個々のことは本當のことであつても、その結論はうっかり信ぜられません。向ふはその結論を信じさせやうと苦心して

事實を種に編輯して居るのですから、どんなに事實があつても、その結論は本當にしては大變です、危いのです。だから皆さんに日本に對する各種の宣傳を輕々しく信じてはいけない、恐ろしいのは前にも述べた諸外國の組織網は銃後國民の生活不安の事實を計畫的に發生させて、これに即應する宣傳をやつて居ることです。なるべく早く日本國內において、もう戦争は嫌だ、戦争に反對するといふ氣分を作らせて國內から崩壊させやう、それには棚からボタ餅が落ちて來るやうに大衆生活の不安が自然に起るのを待つてゐてはいけない、寧ろ人為的に、さういふ事實を作つて、宣傳の効果を急速に且つ大にしやうとして居るのです。

先達てのマッチ不足も、その裏にはこうした恐ろしい魔の手が動いてゐたのです。日本で出來るマッチの七、八割は阪神地方で生産されます。當時の自由主義的生産配給機構の弱點を狙つた巧妙な國際的關取引と、防諜觀念の乏しい我國經濟人の利益優先思想との結果から大量のマッチが海外へ流れ、某國は莫大な利益を得つ、我國内

のマッチ不足の現象に即應して、彼らの組織網を利用し、買溜め賣惜み、生活不安、反戰氣分を煽動したのです。

ガソリンスタンドあたりで『オイ、マッチが足りないなアこれは戦争してゐるからだせ』とか『買ひ占めて置かぬと大變なことになるぞ』とちよつと吹掛ける。運轉手は方々に吹聴する『さあ大變なことになつたぞ』と奥さん方はマッチの買溜めをやする。商人は賣り惜みをする。關取引が起る。かくてあるべき筈のものが益々不足する。このやうに諸外國の各部門に喰ひこんでゐる組織網は、各種の經濟的破壊と思想的破壊とに依つて日本の國力を急速に崩壊させてしまおうとやつて居るのですから、買溜め、賣惜し、關取引等をやつて居る人々は、一生懸命向ふの手先になつて我國を破滅に導いて居るので、決して經濟警察の對照となるが如き小さい問題ではありませぬ、かゝる輩に對しては防諜上斷乎たる取締りが必要で、一種のスパイ行爲として死刑に處すべきものです、この點獨逸が今次の歐洲大戰勃發當時に取つた嚴罰主義は極

めて適切な防諜處置といふべきです。闇取引横行の現況を見ると日本國人は外國ス
 パイの手先なりといつても毫も差支ありません、こんなに外國は巧妙な宣傳をやつて
 居るので、皆さん方はたとへ目の前にいろ／＼不安な事實があつても、結論を信じて
 はいけない。日本の行く道は唯一つです。今更ら戦争が嫌だとか、戦争に反對しても
 納りはつかない。そんなことは日本を滅亡させるばかりです。何百年かゝらうと、如
 何に苦しからうと、どうしても徹底的に世界新秩序を建設しなければならぬ。この大
 事業が今までのやうな生温いことでは絶対に出来ません。

秘密戦における謀略の話

次いで謀略の話に進みます。謀略はいろ／＼あります。獨逸のやつた謀略の一例に
 デンマークの電撃作戦があります。私の現在聞いたところではたつた二名しか犠牲者
 が出て居ないさうです。軍隊は進撃したけれど武力戦とはいへません。秘密戦です。

獨逸は數年前からデンマークの首腦者に第五列を一人々々付けてゐた。總理大臣には
 誰、外務大臣には誰、大藏大臣には誰、陸軍大臣には誰といふやうに、それ／＼コッ
 クとか、運轉手とか、秘書とかにして付けてあつた。いよく獨逸軍が進撃するとい
 ふ場合に、この第五列はすぐ税關を占領して獨逸の軍隊を逸早く首腦者のところへ案
 内したのです。如何にデンマークが小さい國でも本格的の武力戦でやつたら相當の損
 害が獨逸側にもあつたに違ひありません。しかしかゝる謀略は日本等ではさう簡單に
 出来ませぬ。現在日本として最も注意すべき經濟謀略ですから、導いて來る思想破壊
 です。日本の經濟上の弱點に乗ずる一般大衆生活不安の惹起、これを基礎とする巧妙
 な宣傳に依つて國民の思想を崩壊させ、戦はずして日本を滅亡に導かんとする謀略に
 は特に戒心しなければなりません。武士は喰はねど高揚子といふことがあります。け
 れども又たその反對に衣食足つて禮節を知るで、生活不安では自然に思想が悪化する、
 人の思想と經濟とは切り離せない關係がありまして、生活が不安定でも、健全な思想

を持ってといふことは不可能である。よく思想に對するには思想を以てせよといはれて居りますが、經濟關係を忘れたこの言葉には私は大した價値を認めません。先づ經濟方面を攪亂し、大衆の生活を逼迫させ思想の不安動搖に乗じて、これを反國家、反軍に導く思想戰術が最も効果的であります。この種の經濟謀略が日本に向つてなされて居ると思ひます。この經濟謀略の一つの現はれは經濟封鎖であります。

しかし經濟封鎖をやつたところでそれがすぐに相手は參りません。世界中で或る一國しか持つて居ないものならば一寸困るが、そんな一國だけの獨占資源はないから、經濟封鎖だけで降參させるわけには參りませぬ。そちらが油を賣らなければ、どこか外から買つて來るといふ具合です。従つて今一つの手を打たねばならぬ。これは破壊といふ奴です。爆破、放火、細菌等です。滿洲から、支那からいろいろな物資が日本へ入る、日本の中にも澤山出來るものがある、それでは日本はナカ／＼參らない、そこでよし、あの油のタンクを爆破してしまへ、彼處に棉花が澤山積んである、あの棉花を

焼き拂つてしまへ、或は炭坑を爆破する、發電所を爆破する、生産工場の放火、爆破をやる。或は従業員に對し細菌、毒物を使用して能力を低下させる等、我國に現在ある資源の燼滅、生産力の低下を行つて國力の急速な消耗をさせると共に、國民思想を攪亂し、治安を紊し、我國の思想的破壊を迅速にやれといつた指令が第五列に與へられ盛んに活動し出すのです。決して油斷は出來ません。

支那事變に現はれた謀略

今度の支那事變におきまして、現地で判つた謀略の一部を話します。これは醫官の調査です。それは毒瓦斯を使った場合、細菌を使った場合、毒物を使った場合の三つしかありませんが、毒瓦斯の場合には省きまして、細菌によるものは昭和十二年九月七日ですから事變の始まつた直後のことです、寶山城といふところで支那側はコレラ菌を井戸に入れたため、日本軍隊や土地の住民が多數コレラにかゝつた、昭和十二年十一

月には嘉定といふところで炭疽菌をクリークの中に投げこまれてゐるのを発見した。同十二年十二月、南京の貯水池の中に、また炭疽菌の投げこまれてゐるのを発見、同十三年七月、九江でコレラ菌を井戸に投げこんであつたため、日本軍及土民多数が病氣にやられた。同年同月開封でもコレラ菌を井戸水に入れられ多数の罹病者が出た。同八月奉天ではまくわ瓜にコレラ菌を注射して賣り捌き、日本人及滿人多数罹病、同年同月石家莊でコレラ菌を井戸に入れられ土民多数罹病、また石家莊の西方の東里村でも同様に十四年八月コレラ菌を井戸に入れられて日本兵と土民が罹病してゐる。炭疽菌で一番有名なのは先年北滿で、馬が三千頭やられた。これは明かに○國の細菌謀略だと言はれて居ります。支那事變勃發當初大牟田市附近で傳染病が猖獗を極めました。これもどうやら細菌工作の疑ひがあります。毒物も相當ありまして、昇汞を井戸に入れたとか、砒素をメリケン粉に入れたとか、靑酸を井戸に入れたとかいふのが随分あります。大體使つて居る毒物は砒素、亞砒酸、昇汞等です。十四年六月十日、南

京總領事館において支那要人を招待した時、邦人十五名、支那人七名中毒しまして、中二名の書記生が死亡した。この時はアトロピンといふ毒を支那酒に混入して居りました。

その外放火とか爆破といふのは實に澤山ありまして、算へ切れない程あります。大連あたりでも棉花が一遍に何百萬圓も焼拂はれたり、時計仕掛の爆弾を使ひまして鐵橋、驛、その他重要建物を爆破したり、いろいろの手段を用ひて、所謂破壊謀略をやつて居ります。滿洲や支那ではかゝる謀略が非常に多いのです。

そこで私は一葦帶水の彼方に敵性列國の第五列的活動がある以上は、我國內にもその魔手が伸ばされて居らぬ筈はない。きつと第五列の手先が或る程度忍びこんでゐると思ひます。事實事變勃發以來、工場の災害は逐年増加し昨年あたりの損害は莫大であります。これらは秘密戰の災禍と考へねばなりません。この恐ろしい秘密戰において我が銃後の國民が敗けて御覽なさい。支那に行つて居る兵隊は多くの戰友の英靈

を戦地に残したまゝ、泣く泣く歸つて來なければならぬ。丁度前の大戦の獨逸と同じで、しかも歸つてみると親父さんも妻君も殺されて居るといふやうな悲惨な運命になるだらう。かゝる武器なき戦ひ、即ち秘密戦を挑む外國の組織網の諜報、宣傳、謀略に對して、我々は立派な防禦陣を張つて、これに絶対にやられないやうに我國を守る。ことが防諜である。今まで我々は防諜といふことが、よく判らなかつたため、一文も金を貰はずに外國の手先になつてゐたけれども、この際百八十度の大轉換をして、オットどつこい今までのやうにならぬぞといふ、しつかりした態度と覺悟を持たねばなりません。

防諜の如何は民族興亡の鍵

これで防諜とはどんなことか、大體お判りになつたと思ひます。この防諜が完全でなければ、日本は秘密戦で覆へされる。武力戦では日本は決して負けませぬが、今の

やうに國民がウカ／＼して居ると秘密戦で負けますぞ。忠勇なる我國の將兵は、銃後の國民さへしつかりして居れば、武力戦では絶対に負けぬ。しかし銃後が外國の秘密戦にしてやられ、そのため第一線にガソリンが不足する。糧食はなくなる。彈藥が足りない。或は銃後の國民がワイ／＼騒ぎ立てるとなると、如何に忠勇義烈の將兵も思ふ存分の働が出来ない。斯うなつたら負けである。

銃後の國民が秘密戦に負けなければ、日本は絶対に負けませぬ。ですから私共軍人からいへば秘密戦といふものは、武力戦以上に怖いのです。この秘密戦に若しも萬一日本がしてやられたら、日本は將來どうなりませう、恐らく日本民族は勿論、東洋の民族といふものは全く滅びてしまふ。先づ奴隸生活より外に生きる方法はないでせう。このことは私が體驗したのです。それは大正十二年の關東大震災の時、當時私は士官候補生で、來年本科士官學校を卒業する前でしたが、その時士官學校の生徒が、大公使館の警備をしたのです。私共同僚五名はノモンハン事件で名譽の戦死を遂げら

れた伊勢高秀少將（當時大尉）の指揮の下に〇〇公使館（此の國は今次の歐洲大戰で獨逸に滅ぼされてしまつた）に行きました。公使館に到着しますと、伊勢大尉殿が公使に會つて士官學校から警備に來たからと言つて挨拶しやうと思はれ、刺を通じたところに日本人が出て來て、今公使は非常にお忙しいので、御挨拶を受けかねるといふ。止むを得ず、では警備につかうといふので、各々部署を定め、一人が館内を巡察する。私共は庭の六尺腰掛に腰をかけて待機してゐる。その附近には避難して來た人が一杯居る、暫くすると巡察に出かけた同僚がブン／＼怒つて歸り「裏に廻つて見る、公使は酒を飲んでワイ／＼騒いで居る、何が多忙だ、怪しからぬ奴だ」と言ふのです。一同憤慨して居ると、さつき公使は忙しいから會へない駄目ですと言つた日本人が出て來たから、いきなり其奴の胸倉を捉へて、貴様は〇〇人か、日本人か、士官學校から警備に來て、その挨拶を指揮官たる將校がしやうといふのに、それも本當に忙しいなら兎に角、酒を飲んで居るのに、忙しいなどと誤魔化すとは何事だ、貴様それでも日本

人か」とやつたわけです。それから多少待遇が變つたけれども、とう／＼挨拶はなかつたのです。そんなわけで癢に觸りながら警備をして居るうちに、或日のこと、そこらに避難して居る方達がどん／＼荷物を片づけて居る。どうしたのかと訊いて見ると、公使が「そこに避難して居る日本人は汚いから追拂つてしまへ」と言つたのださうです。それは怪しからぬ、公使だつてこの場合そんなことは言はせぬ、構はないからそのまゝにしてゐなさい、談判をするからといふので結局そのまゝになつたが、小國のこの公使さへ斯ういふ有様である。彼らの眼からみれば有色人種は、ほんの奴隸位にしか見てゐない。ところが日本が隆々たる勢で世界の檜舞臺に登場して來たので大變な騒ぎです。

だから今のうちに日本と支那を戦はせておけば日本は倒れるだらう。日支共倒れになれば、東洋は自分らの思ふまゝになるといふので、ドシ／＼物資を蔣介石に送つて喧嘩をさせろ、日本に對してはあらゆる經濟的壓迫を加へ、國民思想を攪亂し、一日

も早く潰れるやうに、と一生懸命にやつて居る。若しも日本が外國の宣傳とか謀略によつて倒れたら、もう永遠に日本は起ち上る隙は與へられない。奴隷です。日本を出發して歐洲へ旅行して御覽なさい、東洋の到るところの港から澤山の歐洲行の物資が積み出されて居る。それを荷役して居るものは、悉く東洋人だ。東洋からあらゆる搾取をして、歐洲はヌク／＼と肥え、せい澤をして居る。今獨り東洋に頑張つて居るものは日本です。だから日本が倒れたら、東洋は絶対に立ち上ることは出来ませぬ。ですから防諜といふことは非常に大切である「秘密を洩すな」これが防諜なりなどと甘つたるいことを考へて居つたら大變な騒ぎです。防諜は結局銃後の國民が前線の勇敢なる將兵と呼應して、恐るべき秘密戰に戦ひぬいて最後の勝利を獲得することなのです。

防諜はどうしたら出来るか、それは國民が
本當の日本人に生れ代ることだ

さてそのためには、日本人が眞の日本人となり、外國依存を改めることが根本です。現在のやうに日本人が、たゞ譯もなく外國人を優秀の民族のやうに思つて崇拜し、外國人と交際するのを誇とし、外國人をみればハローとか何とか言つて騒いでゐる状態を速に直さねばなりません。日本の國では方々に英語が書いてある。此の如くに日本自ら英國の屬國たることを證明して居るやうなものです。この間も内務大臣の官邸に行つたら、その便所



にWCと書いてある。外務大臣の官邸ならば外國人が来るから先づ宜いとしても、内務大臣の官邸なのに怪しからぬと言つたら、何あれはウエルカムと書いたのだよ、と言つた。だから防諜の一つとして先づ日本から横文字を一掃してしまひ、皇國日本こゝにあり、と内外人に示すことは非常に大切なことで、こんなことは國內問題で外國には少しも關係のないことです。日本の國には日本の文字がある。先づあの横文字を全部消すことが防諜運動の第一歩である。無意味に外人なんか崇拜しないで日本人は日本人らしくなる第一の運動です。斯ういふことは内務省あたりが大いにやるべきだ。或る程度は現に實行されて居て、和歌山縣では外國文字の看板は許さない。鐵道省でも外國語を消すことになつて居る。專賣局の煙草ゴールドデンバットが『金鷄』になり、チエリーが『櫻』に改まつて來てゐた。これから先はどん／＼外國文字を廢止するやうにしなければならん。

今年から高等學校の文科の試験に英語がなくなつた、女學校で何を苦しんで大部分の時間を英作文だとか、英文法だとか、ペンマンレツプ（英習字）とか言つて大して役に立たぬことをやつて國民を苦しめて居るが、あんなことは止めてしまふべきです。學生はどんなに苦勞して居るかわからない。兎に角入學試験準備課目を『英漢數』だといつて居ます、英語と漢文は、英國と支那でそこに日本に關する何ものもない。數學はインターナショナルだ、英漢數が必須の試験課目であるといふ日本の状態で、何處に日本らしさがあるか。

日本にミツシヨンスクールがある。日本の國民を教育するのに、何故外國の金と、外國の人間とを必要とするのか、これがなければ日本國民の教育が出來なければ日本の文部省は要らない。小學校に關する限り、國民學校となつてミツシヨンスクールはなくなりましたが、中學校以上でも速に一掃しなくてはなりません。銀座にエーワシといふのがありますが、あそこの勸定書が全部英語で書いてゐる。その消印まで英語で Received with thanks と書いてあるが怪しからんです。東京の帝國ホテルに行つ

て御覽なさい。Reserved と書いてあつてその下に日本語で小さく『お約束済み』と書いた札が食卓に立つてゐます。

こんな状態ではいくら觀光局が日本の金を使つて外國人を連れて来て、日本は聖戰四年、尙且つこれだけの餘裕があると見せても、その連れて來た外國人は帝國ホテルに泊つても、何處に行つても皆英語である。これだけの強い國をまだ英國が支配して居る。英國といふ國は偉いなあと言つて、皆英國の提灯持をやつて居ることになる。だから先づこういふことをやるならば、日本の國から外國文字を全部禁止して、消してしまつてからでなくては役に立ちませぬ。外國人が一人も來ない理髮店に Bar bel shop. と書いてある、中には Head Cutter といふやうな文字が出てゐるのではどうにもならない。この英語を普及したこと、英國の組織網が國內に植ゑつけられてあることが、英國の宣傳には非常に役立つて居る。

これは(英文のパンフレットを示す)英國大使館で發行したもので御承知の方もあ

ると思ひますが、『印度と大戰』これは『戦時下の英國』といふ冊子であります。皆さんの中にも屹度お貰ひになつてゐる方があるんじゃないかと思ひますが、この本と一緒に、

拜啓 陳者東京英國大使館情報部發行の印刷物茲許御手許迄御送附申上置候
に就ては之等のもの御興味有之今後の刊行物(非賣品)引續き御受領御希望の節は同封の葉書御使用の上御一報賜り度此段御責意を得申候 敬具

在横濱英國總領事館

と印刷してある案内状と

刊行物受領希望 仕(不仕)候

御住所

御芳名

と印刷してある官製葉書が同封してあります。この葉書で希望仕候と出せば、無

料でかういふもの(示す)をどん／＼送つてくれる。東京の英國大使館の中にはオー
ルウエーブの受信機があつて、本國のニュースを聴きまして、これをすぐ翻譯印刷す
る。領事館へ渡す。領事館はそれをどん／＼各方面に配つてをります。先日調べてみ
ますと、各種の商社宛約一千百、個人宛約八百(外人約三百五十、日本人約四百五
十)新聞雜誌社宛が約二百五十、學校宛が約百、その他教會、官公署宛約百、總計で
二千二百五十、これだけ出してをります。これは英國の宣傳の一方方法なのです。英國
の宣傳要綱は四つばかりあります。日本が英國側に參加して參戰するやう日本の輿論
を導くこと、日本が獨伊に軍事上の援助を與へぬやうにさせること、日本が獨伊側に
物質的援助を與へぬやうにさせること、更に日ソ不可侵條約の締結を妨害することの
四つです。英國の働きかけて居る重點は親英的上層部です。この宣傳の一方方法として
のニュースを東京の或る新聞社は海外特派員を持つてゐないくせに、本社特電だと稱
して載せてゐる。まことに英國にとつては有難い新聞社です。

また學校でも英語教育の時間に、英國總領事館から貰つて居るニュースを使つてゐ
るだらうと思ひます。教會などでも、教會へ行く人は相當英國に關心を有つてゐる
から、牧師さんが、これが本當だ、日本の新聞に出て居るニュースは嘘だといつて居
るに違ひない、信者は牧師のいふことを信用してしまふ、ナカ／＼馬鹿にならぬ宣傳
の力を持つてゐると思ひます。かやうに宣傳が出来るのも、英國が日本に大きな組織
網を持つて居るからです。假りに私が英國に行きまして、お前に一ヶ月一億でも二億
でも費つていゝから宣傳して來いと言はれても、私は絶対に御免蒙ります。日本には
明治時代から植ゑつけられた親英層がある、組織網がある、だから宣傳に必要な文書
類を流せば皆貰つてくれる。ところが私がポコンと英國へ行き、如何に金を費つても
こんな出版物を誰も受取つてくれるものが無い、この永年に亘つて植ゑつけた英國の
秘密戰の温床體といふものは偉いもので、今日英語をもつて日本を支配した、誰も彼
も英語を知つてゐることが、非常な英國の強味であります。フランス語や、獨逸語で

出しますと、なかく讀む人が少いが、英語なら大部分の知識階級が讀む、この英語を普及したといふことは偉大なもので、思想的に英國が日本を引づり廻してゐる證左であります。

だからよろしく日本人は日本人らしくなり、本當の日本を作り、ちつとも外國の御世話にならぬ日本を作ることが必要である。そうすれば恐るべき秘密戰の主體たる外國の組織網が日本の中に居られなくなるのであります。

今までのやうに外國崇拜のため、外國の金の力、技術の力、或は宗教の力、學術の力、斯ういふものが入つて居つたために、日本はどれだけ苦勞してゐるか話にならぬ。例へば電力、これは殆んどアメリカの金でやつて居る。だからアメリカ人が會計検査に来て、すつかり書類を檢閲し、現場の検査をやる。必要な報告を取る、その報告には、どの發電所はどの會社、どの工場、或は何處の電氣鐵道に、どれだけの電力をどういふ風に配給して居るかといふやうな細かなところまで書いた報告を圖面まで

附けてさせて居る。これちやどの發電所をドカンとやれば、どの工場とどの工場が駄目になつて、何處の輸送が止まるかといふことが、ハツキリ判る。これを今までは平氣でやらして居つた。又た外國の火災保險會社に再保險をすると工場の内容が全部向うにわかる。今は再保險をやりませぬが、昔は再保險をしましたから、工場の内幕が全部判つてしまつて居る。いろ／＼な製作機械や、技師等も皆外國のものだから、日本の秘密は全部外國へ筒ぬけです。ありとあらゆるものがわかつて居る。素ッ裸になつて尻の穴まで向うに見せて居つたのが日本の現状でした。これでは本當の防諜は非常に至難である。本當の日本人に生れ變つて、此の非常時を突破するといふ大信念大覺悟が防諜上最も必要のことです。

防諜は國民がやる

この防諜は誰がやるか。皆さんは官憲がしつかりやつて居ればそれでよい。我々國

民大衆は無關心でよいなどと思つて居られはしませんか、若しもそうでしたら、それは非常な誤りですぞ。

先程も申しましたやうに、諜報の對象になるものは、いろんな形で、國民の一人々々が握つてをるのです。これを充分に守らなくては如何に官憲が一生懸命になつても、みんな洩れてしまふのです。

宣傳もその効果があるか、無いかは國民が宣傳に躍らされるか否かに關係します。

どんな巧妙な宣傳をしても、日本國民がさつぱり動かなければ、何にもならぬ。

謀略でも同様で、外國が經濟封鎖をしても、日本國民が生活を切り詰め、無駄を省

き、これに抗し得る力があれば、經濟封鎖の効果はナカク、現はれぬ。國民がその職

場々々を嚴重に守つて爆破、放火、細菌、ストライキ、サポータージエ等の破壊謀略に

一寸の隙も與へなければ結局出來ない。かやうに外國の秘密戦に對し、我國を守るべき防諜は國民の一人々々が行ふべきものです。

丁度戸締もせず、また火の元にも注意しないで一家總出で花見に行つたら、如何に警察官、憲兵、消防が注意しても、盜難や火災の防止が出來ぬと同じです。日本の防諜の現況は戸締もせず、火は起し放しで一家總出の花見と同一の寒心すべき状態にあります。速に『國民舉つて防諜の戦士』にならねばなりません。

法規の禁を守るのみでは防諜は出來ない

次は防諜と法規との關係になります。防諜は、法律の禁止を守つただけでは絶対に出來ないことを明確に認識して頂きたい。防諜に關する法律としましては、随分あります。著名なものは、軍機保護法、軍用資源秘密保護法、要塞地帯法、軍港要港規則、陸軍輸送港域軍事取締法等であります。その法律でいけないといふだけ守つて居ればいゝかと云ふと、それでは防諜は到底不可能であります。法律といふものは最後の線だけ押へてある。丁度自分の生命を守るのに、裸と云ふ最後の線だけで守つて

あると同じである。だからそれに或る程度の厚味を付けないと、危険至極である。この厚味が行政指導だらうと思ひます。例へば、軍機保護法で東京、横濱附近では地上二十メートル以上の高所から許可なく寫眞を撮つてはいけないことになつて居ります。だから鐵橋、或は驛を撮らうと二十メートル以下ならばいゝといふことになりませんが、今お眼にかけました〇〇鐵道爆撃に使つた圖の寫眞でも決して高い所から撮つたものではありません。地上から撮つたもので軍機保護法には一つも引つ掛らない程度のものですけれども、かういふものが物を言ふとすれば、二十米以下ならば少しも法律に觸れてゐないといふのでどん／＼出しますと、かういふ大變な結果になるのですから、法律の禁を守つただけでいゝと言ふのでは、全然誤りであります。國民が防諜をする爲には法律を守つただけではいけない。それ以上に行政指導と云ふ厚味を有たせたもので守らなければならぬ。だから各官憲の行政指導に進んで服従するといふことにしなければ防諜は絶対に出来ない。

ところがどうも日本人はこの點の認識が悪くて防諜上有害だから止めてくれと言ひますと、それは一體どういふ法的根據に依つて言はれるかとの文句をよく承るのです。防諜に關する限りはさういふことを言つては困るとよく説明すると初めて納得される。これは防諜上感心しないから止めて頂きたいと言ふと、これは何といふ雜誌に載つて居つたその儘だ。どうして私の出すのが悪いか、もう相手に分つて居るぢやないかと詰問が来る。これは諜報を少しでもやつた方はお分りになると思ひますが、人間は神様ぢやありませんから、日本で出版される全部の出版物を皆な片端しから讀んで中から取出すことは不可能であります。或る程度しか取つてゐない。でありますから、こゝに百なら百の本がある。その本に同じ記事を書きますと、どれか引つ掛つて取れる、ところが百の中一つ二つなら案外眼を逃れる。だから外の本に書いてあつたから書いてもいゝ、といふことは理由にならない。殊に筆者とか書籍とかの權威の如何によつて同一記事でも、スパイに取つての信用度が違ふので、その邊の要素を抜き

にして考へられるのは誤りです。

最近〇〇あたりは、營業案内、事業案内等を蒐めて居ります。どん／＼新しい工場が出来ますので、かういふものを蒐めてゐる。これは勿論、この會社がどういふものか、何をやつてゐるかといふことを蒐集するのが主體になりませうが、もう一つに、空爆の材料を集めてゐるんぢやないかと思ひます。それは營業案内や事業案内、型録等には、きつと相當高い所から撮つた會社なり工場の寫真が載つてゐる。かういふやうに新しい工場など、寫真を蒐めて空爆の際の材料にするのではないかと考へられるのです。だから國民としては防諜の根本觀念から總ての仕事をすべきで、防諜のために法規々々と、そればかりに依存しては駄目だといふことを充分認識していただきたいのです。

非常時突破の覺悟

外國でさへ斯う言つて居る。戦費といふものは何んで賄ふかといふと、それは平時の生活と戦時の最低減の生活との差でやるべきものである。これでなければ出来ないと言つて居ります。ところが日本の今の生活は果して戦時の最低生活でありませうかそんなものはありはしない。たゞ大體物が高くなつてをるだけで、戦時の最低生活ではない、物價が高いので生活を加減しなければならぬといふだけで、月給は普通に貰つてゐる。こんなグータラでは戦争がつゞけられませぬ。もつと日本人は心を入れ替えて、右の人も左の人も金持も貧乏人も、サラリーマンでも、労働者でも、手をつないで、全部一つになつてこの非常時局を突破しなければならぬ。凸凹があつてはいけない。國民がこの氣持になれば何んでも出来る。何んの恐れることがありませう。京濱國道を走つて御覽なさい。道に眞鍮の玉が埋まつて居るでせう。あれを取れば相當に眞鍮があるのに、東京市では蚊帳の釣手の献納などといふ馬鹿なことをやつて居る。それよりも、あの道路の眞鍮の銚を取つた方が遙かに宜い、或は罐詰の空罐でも

皆捨て、しまふが、こんなことを止めてペン先一本、蓄音機の針一本でも、靴墨の蓋一つでも、廢品とせず、更らに活かして使ふといふことになれば、外國の經濟封鎖なんか何んでもない。私の小さい時は、御飯粒一つ落しても勿體ないといつて叱られた。水草紙といつて、筆に水をつけて書くと字が出る。乾くと消える。だから何度も使つて、たゞお清書の時に一枚の半紙を使つた。今の子供は新しい半紙に一字書いてすぐに捨てる、しかもさつぱり字が巧くない。あまりにもせい澤だ。今困つてゐるのはこの天罰で。ガソリンが無ければ蘭印から貰つてくればよい。まだ足らなければ、急用でないものや、學生は歩く方がよい。却つて丈夫になる。

日本國民は裸になつてもやるぞ、どんな苦勞があつても、子や孫のために立派な國を譲ればよろしいとの覺悟さへ決すれば、どんなことでも出來ますが、不安なのは未だ國民に赤い思想がある。外國の宣傳、謀略がやつて來る、これに國民が引ッ懸つて何時銃後がどうなるかわからない。國民の決意がまだわからないところがあります。

若し國民全部が、裸になつてもやるぞといふならば、恐ろしいことはないのです。皆さんは一つその氣持になつてやつて頂きたい。

防諜は國民の心構へ一つ

防諜といふものは金も施設も要らない、たゞこの心構へで出來る。今までお喋りして居つたのは止める。紙屑はポイと捨てるのを止めて再製器にかけて、もう一ペン紙にして使ふ。ペン先をあつめる、その他何んでも不用の物をあつめて回収する。職場を嚴重に守る。どんな苦しいことでも我慢して一億一心、この非常時局を突破する。如何なる宣傳にも乗らない。日本政府を信頼し、その號令に絶対に服従する、これで防諜は出來る。こゝには婦人方が居られるから一言いたしますが、外國人に心酔して居る婦人などが、よく使はれる、中には○國人と結婚して本國へ行つたらマルで土人の生活をしてゐたので嫌になつて歸つて來た日本婦人が居る。又た○○○○といふ外

國人、といつても西洋人ではない東洋人ですが、女の友達を百數十名も持つてゐた。その中の三十名位は、最後のある物まで取られて居る。最後に飛行機会社の重役の妻君から何か取らうとしたが、成功しなくて監視廳に擧げられたが、こんなならしない女がある。どうも日本の女は、日本人以外の者が無暗と好きのやうだが、これは何事か。大和撫子など、言ふ言葉はかうした近代女性には使用禁止に願ひたいと思ふ。總て日本の女は外國人と結婚すべからず、今女は餘つて困つて居りませうが、是非日本人と結婚するのです。さうして立派な子供をうんと生むことです。立派な國民を作り、やがて立派な日本を作るのです。これも防諜の一つです。

詰らぬ話になりましたが、防諜といふことは、秘密を洩らすなといふやうな簡単なものにはありません。そしてスパイの正體は今まで皆さんが考へてゐたやうな詰らないものではない。外國の組織網である。さうして實に巧妙なことをやつて居る、だから大いに男は禪、女は何だか知りませぬが、大いに引締めて、しつかり踏ん張つて

やつて貰ひませう。

この話を聞いたならば、先づ皆さんは只今から、何處からスパイが來ても崩壊しないやうに銃後をしつかり固めて、支那事變を解決し、東亞共榮圈を確立する。さうして世界全部を八紘一字の理想郷にする準備を着々と整へねばなりません。それには一億一心あらゆる困苦に耐える大信念大覺悟を必要とします。皆さん大いにしつかりや

りませう

(完)

(定價 三十錢)

昭和十六年二月二十一日 印刷
昭和十六年三月一日 發行

編輯發行
兼印刷人

東京市京橋區銀座西二丁目一番地
安 養 寺 敏 郎

印刷所

東京市京橋區銀座西二丁目一番地
株式會社 日刊工業新聞社

發行所

株式會社 日刊工業新聞社

414
389

終

